

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒141-8643

住 所 東京都品川区大崎1丁目11-2

氏 名 株式会社ローソン

代表取締役 新浪 剛史

(代理人) 社会共生ステーション ディレクター 片山 裕司 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社ローソン		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区小田2-4-3		
該当する事業者 の要件	<input type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業、小売業
	中分類	58	飲食料品小売業
主たる事業 の内容	コンビニエンスストア「ローソン」のフランチャイズチェーン展開		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	3,948	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	BPR推進ステーション
		所在地	東京都品川区大崎1丁目11-2
		電話番号	03-5435-7899
		FAX番号	03-5759-6904
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度23年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
備考	当社の地球温暖化対策の取り組みについてはホームページにて公表しています。 <a href="http://www.lawson.co.jp/company/activity">http://www.lawson.co.jp/company/activity</a>

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策結果報告

## 1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

## (1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

## ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	5,953 4,720 t-CO <sub>2</sub>	6,659 5,277 t-CO <sub>2</sub>	6,452 5,111 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	6,454 5,117 t-CO <sub>2</sub>
削減率		-11.9 -11.8 %	-8.4 -8.3 %	%	-8.4 -8.4 %

## イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	延床面積×営業時間		単位	t-CO <sub>2</sub> /百万m <sup>2</sup> ・h	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	56.07	58.08	52.66		54.40
削減率		-3.6 %	6.1 %	%	3.0 %

## ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	猛暑の影響により7～10月の店舗電気使用量（空調、冷凍・冷蔵機器）が増加し、基準年度比で排出量及び原単位ともに増加となりました。
第2年度	排出量については店舗数の増加により基準年と比較して増加となりました。原単位あたりの排出量については、新店への省エネ機器の導入や既存店の機器の入れ替え、節電への取り組み等を実施し、目標年度の値を下回る削減を達成できました。
第3年度	

## (2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

2012年度までに1店舗あたりの電気使用によるCO <sub>2</sub> 排出量を2006年度比で10%削減する目標に対して、2011年度は以下の結果となりました。
2006年度（基準年度） 70.6 t-CO <sub>2</sub> /店
2011年度 65.2 t-CO <sub>2</sub> /店

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該当者等)	計 画	○新設・更新等における措置 【新店】 「省エネパック（要冷空調一体型システム）」やLED照明を導入し、消費電力の削減に取り組む。※一部設置不可店あり 【既存店】 一定年数を経過した空調機、冷凍機について、高効率な機器への入れ替えを実施する。また一部店舗でLED照明の導入を行い、消費電力の削減に取り組む。※対象店のみ
	第1年度	○新設・更新等における措置 【新店】 「省エネパック（要冷空調一体型システム）」やLED照明を導入し、消費電力の削減に取り組みを行った。 【既存店】 一定年数を経過した空調機、冷凍機について、高効率な機器への入れ替えを実施する。また一部店舗でLED照明の導入を行い、消費電力の削減に取り組みを行った。※対象店のみ
	第2年度	○新設・更新等における措置 【新店】 「省エネパック（要冷空調一体型システム）」やLED照明を導入し、消費電力の削減に取り組みを行った。 【既存店】 一定年数を経過した空調機、冷凍機について、高効率な機器への入れ替えを実施する。導入可能な店舗全店でLED照明の導入を行い、消費電力の削減に取り組みを行った。
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	



## 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	○お客様のCO2削減のため、CER（京都クレジット）を購入 2008年4月より、お客さまが身近な店舗で参加できる環境活動の一つとして「CO2オフセット」運動を開始し。会員カードのポイントとの交換や店内の情報端末「Loppi」でオフセットの申し込みが可能。また排出権付き商品の販売にも取り組んでいる。今後も更なるオフセット件数（量）の拡大に向けて、上記取り組みを強化していく。（2009年度のオフセット量：約5600t-CO2）
第1年度	2010年度のオフセット量は3,386tとなりました。詳細は以下の通り。 Loppi、ポイント交換 234t 排出権付商品 3,039t 家電エコポイント 113t
第2年度	2011年度のオフセット量は691tとなりました。詳細は以下の通り。 Loppi、ポイント交換 173t 排出権付商品 468t 家電エコポイント 50t
第3年度	

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	○「ローソン緑の募金」による森林整備（植樹、育林等）の実施 ○お客さまと共に省資源（レジ袋削減）の実施 ○食品リサイクル ○廃棄物の分別推進によるCO2排出量削減 ○物流の共同配送による効率化
第1年度	○「ローソン緑の募金」による森林整備（植樹、育林等）の実施 ○お客さまと共に省資源（レジ袋削減）の実施 ○食品リサイクル ○廃棄物の分別推進によるCO2排出量削減 ○物流の共同配送による効率化
第2年度	○「ローソン緑の募金」による森林整備（植樹、育林等）の実施 ○お客さまと共に省資源（レジ袋削減）の実施 ○食品リサイクル ○廃棄物の分別推進によるCO2排出量削減 ○物流の共同配送による効率化
第3年度	

## 6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

## (1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	5,782	t-CO <sub>2</sub>
(調)	5,764	

## (2) 事業所等单位（第 1 号、第 2 号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k1 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る事 業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 以上 1,500k1 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る事 業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k1 未満	0
300～400k1 未満	0
200～300k1 未満	0
100～200k1 未満	0
100k1 未満	100

## (3) 事業所等单位（第 4 号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る事 業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--